



基調講演する石破氏

会部 鳥取創生を考えるセミナー 技術 石破氏が講演、190人参加 中国

(公社)日本技術士会中 国本部(大田一夫本部長) はこのほど、鳥取市尚徳町のとりぎん文化会館で地

域産学官と技術士との合同セミナーを開いた。セミナーでは、石破茂地方創生担当相が「ひとりひとりの創

生」をテーマに基調講演。約190人が参加し、地方の元氣づくりに向けて何ができるかを考えた。セミナーは、多くの地方で人口減少や都市機能の維持が課題となる中、この現実を直視した上で、鳥取県内の様々な取り組み事例を学び、鳥取の魅力を確認しながら、積極的な行動につなげることを目的に催された。

基調講演で講師を務めた石破氏は、「ひとりひとりの創生」をテーマに、「ひとりひとりが考える「ひとりの元氣」」を演題に話し、地方創生がなぜ必要なのかを分かりやすく解説。地方発の自発的な取り組みを促しながら、その前段として「技術士とは、高等の応用能力を有しているという点で学者とは異なる」と指摘し、「多くの技術分野を有する技術士会の地方創生に向けた関与」に大きな期待感を示した。

基調講演のあとは、「ひとりひとりの創生」の戦略について講師の鳥取県元氣づくり総本部長小倉誠二氏や若者の移住・定住について講師の公立鳥取環境大学環境学部准教授・新名阿津子氏など計5つの事例紹介が行われた。

閉会挨拶に立った大田本部長は「他地域での成功事例を単に真似するのではなく、地域の特色をいかした活性化策をつくり、民間のノウハウや資金を活用して施設の整備や運営を効率化することが望まれる」と述べた上で、「地方創生は、科学技術のほぼ全域をカバーする技術士が社会貢献するのに相応しいテーマ。今後、技術士は地方創生に積極的に取り組んでいきたいと考えている」などと締めくくった。



石破大臣を囲んで記念撮影(左：伊藤徹 副本部長、右：大田一夫 本部長)